



オンラインセミナー  
食を通して見えるアフリカ No. 4  
「食料としてのバナナ」

アフリカの食料の課題を学ぶグループ「FAO の資料を読む学習会」において、穀物が中心の FAO の資料で触れることのない食としてのバナナの話を知りたいという希望があり、『バナナ(知りたい食べたい 熱帯の作物)』を監修した佐藤靖明さんにお話しいただくことになりました。日本以上にアフリカにおいてバナナは日常生活に欠かせない存在ですが、いつからバナナはアフリカで栽培され、食され、利用されてきたのでしょうか。食料や農業に関心のある方、バナナがお好きな方ももちろん、ぜひご参加ください。

日時：3月6日（木）19時30分～21時

形式：オンライン（zoom 利用）

参加費：500 円

お申込み URL：<https://forms.gle/7y18R3wM5MzmoVXd7>

参加費の振り込み先

三菱 UFJ 銀行上野支店（普）5305887 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

またはクレジット決済 <https://congrant.com/project/ajf/7374/form/step1>

<プログラム>

19時30分～ あいさつ・スピーカー紹介

19時35分～ 佐藤靖明さんのお話

20時15分～ 質疑応答

20時45分 終了

[スピーカー]

佐藤 靖明（さとう・やすあき）さん

1976年福島県生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科単位取得退学。博士（地域研究）。専門は、民族植物学、生態人類学、アフリカ地域研究。大阪産業大学生活環境学科講師・准教授、同環境理工学科准教授を経て、2022年4月より長崎大学多文化社会学部准教授。主な著書に『ウガンダ・バナナの民の生活世界』（2011年、松香堂出版）、『食と農のアフリカ史』（共著、2016年、昭和堂）がある。



問合せ [ajf.shokuryo@gmail.com](mailto:ajf.shokuryo@gmail.com)

主催 アフリカ日本協議会 FAO の資料を読む学習会